



山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41
TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699
URL:<http://www.mokusankyo.com>
E-mail:yamawood@mokusankyo.com

- | | |
|------------------------|----------------|
| 目 1 木材利用ポイント 250 件を突破! | 5 木材産業研修会の状況 |
| 2 木材利用ポイント事業の増額と延長! | 6 会議・研修等のお知らせ |
| 3 施工業者と納材業者の再々登録開始! | 7 12 月期住宅着工戸数等 |
| 次 4 第4回木材利用ポイント協議会を開催! | |



1 木材利用ポイント申請 250 件を突破!!

1月25日付の山形新聞の住宅特集の中のPR広告(ポイント協議会)や29日付の朝日新聞(山形版)の中でのPR広告(木産協組員である金山町森林組合単独)等、次々と掲載されている中で、ポイント申請件数は、県内受付及び全国事務局受付分を合わせると250件を上回る勢いとなっている。

一般県民にポイント制度が浸透することで、施工業者への代理申請の要請が増えている。これから完成木造住宅の引渡しが多くなるにつれ一層増加してくるものと考えており、県内8箇所の受付窓口は万全の体制で臨むことにしている。

(住宅展示場でのPR風景)



2 木材利用ポイント事業の増額と延長(予定)!

林野庁は、消費税引き上げによる駆け込み需要の反動減を回避するため、木造住宅の建築や木材製品の購入などにポイントを付与する本事業の延長を発表した。

- (1) 木造住宅の新築・増築又は購入、内外装木質化工事(地域対象材を一定量使用するもの)
平成25年4月1日～平成26年9月30日までに工事に着手したもの。
- (2) 木材製品・木質ペレットストーブ・薪ストーブ
平成25年7月1日～平成26年9月30日までに購入したもの。



(会場でのパンフレット配布)

- (3) 予算の増額

昨年度補正の410億円に今年度補正で150億円を加え、合計で560億円の規模に拡大。

3 施工業者、納材業者の再々登録開始!

期間延長や予算の増額に伴い、施工業者、納材業者の再々登録が実施されることになった。現在、施工業者は約600社、納材業者は125社が登録しているが、事業期間の延長に伴い、追加登録が可能となったもの。木産協組合員は周辺の関連業者に至急周知願います。

- (1) 木造住宅又は内外装木質化工事を行う施工業者の再々認定については
単県型:平成26年1月27日～2月21日 (登録先は県ポイント協議会・木産協事務所)
全国型:平成26年2月3日～2月14日 (登録先は全国ポイント事務局)
※ 木材利用ポイントのホームページで申請書がダウンロードできます。
※ 登録することで、これまで未登録だった業者が昨年4月1日以降着工した住宅で、
所定の条件を満たすものは遡って対象に出来ます。
- (2) 木材の納入業者の認定については、
平成26年3月中旬を予定(全国ポイント事務局へのインターネット登録となります)
※ 現在登録している方で、「県産材認証制度」でのみ登録している方は、合わせて「合法木材」での登録も行っていただくことで、使用できる対象地域材の産地も増やすことができます。
- (3) 内装・外装木質化建築材料の申請:平成26年1月27日～2月14日

不明点については、県ポイント事務局(木産協内・023-666-4800)にお問い合わせ下さい。
また、地域の組合員どうしで連携を取り合い、納材証明の作り方等について情報交換を行って下さい。

4 第4回木材利用ポイント事業推進協議会を開催!

1月21日に山形市内のホテルキャッスルで標記協議会を開催し、ポイント事業を巡る情勢の説明、情報交換、対象地域材として認定された「米国産ベイマツ」と建築工法との組み合わせの是非について協議した。

今回は、委員の他、申請受付担当者、県内のポイント商品交換事業者、代理申請を多く取り扱っている施工業者、ポイント広報公募事業で協議会と連携して実施している地方マスコミ担当者等も参加し、県内でポイント事業を担っている各業界が勢揃いする拡大協議会として実施したものである。

(1) 状況の説明

事務局からは、1月20日現在の申請件数や東北各県の状況が報告され、人口の少ない本県が健闘しているものの、ポイント取得数がまだ6～7千万ポイント(全国事務局受付含む)であり、目標の達成にはかなりの乖離があること、期間の延長や再々登録の情報、県民の皆様への普及啓発活動の実績や計画について報告、提案した。

- ※ 特に、委員からの提案で、ポイント事業のみの普及啓発では効果が薄い(関心低い)ことから、
 - ア 県や市町村の住宅建築支援の各種制度も併せて説明する手法で集客を図る。
 - イ 第3次の広報公募事業では予算に限度があることから、工務店等からの協賛もいただき、十分なPR資材を準備し広範囲な取り組みとする。
等の方向で効果的なPRを行うことになった。

(2) 委員等からの報告

委員からは各業界が様々な会合等でPRを実施していること、窓口からはポイント申請受付で留意すべき点等の報告、商品交換業者からは交換品の種類や実績及び評価さらに交換された方にDM等の効果的なPR手段が使えないことの課題、代理申請を多く行っている施工業者からは、現在の申請は営業など確立されているところが中心となっており、より簡易な申請方法をとることでさらに取り組みの増加が予想されること等の課題、公募広報事業担当からは県民や業界関係者へのPR不足の事例等が報告され、今回はじめて事業の全体像を把握し、共通の認識を持つことができた。



(3) 認定された「米国産ベイマツ」を工法との組合せで活用することに対する意見

対象地域材として、基金管理委員会で認定されたアメリカ産「ベイマツ」については、そのまま使えるわけではなく、現在認定されている建築工法(木造軸組、丸太組、桝組壁工法)との組み合わせにおいて、協議会として意見を提出することが求められていることから検討協議した。この結果、次の理由により、本事業によるアメリカ産「ベイマツ」の活用については、止む無しとの結論に達した。

- ア 本県における木造住宅建築の梁材等として長期にわたり使用されていること。
- イ 適材適所の考え方から、耐久性が高く、ポイント対象住宅の質的向上が見込めること。
また、スギ平角の乾燥技術に課題があることから、横架材としてのベイマツの使用は合理性があること。
- ウ 本県における地域振興は県産材の利用を拡大することがベストであるが、国産材の需給が逼迫している中で、ベイマツが該当することで木造住宅建築の促進に繋がること。
- エ 対象地域材の種類が増えることで、業界並びに消費者にとって利用機会が増え、地域経済への波及効果も期待できること。

協議会としては、欠席した県産材関係委員(3 森林組合等)の意見も聴取し、最終的には、会長と副会長(二名)で調整し、基金管理委員会に報告することになった。

○ 注目願います!!

「合法木材取扱書面調査」を行わせていただいておりますが、まだお出しになっていない方が25%に上っています。(2月1日現在)バイオマス発電や、木材利用ポイント等の証明として有効ですので、ご協力下さるようお願いいたします。

合法木材制度は任意の制度です。もし必要が無いなら無駄な経費を出すことはありません。形骸化すれば効力や権威は無くなります。

このことを十分ご理解下さるようお願いいたします。

5 木材産業研修会の状況について

1月17日(金)、ホテルメトロポリタン山形において、全木協連主催の「水平連携地域活動事業講演会」が開催され、業界・行政関係者70名が出席し、木材乾燥と木造施設に関する最新の取り組み等について認識を深めた。

講演は二部にかけて行われ、木産協は会場及び資料等の準備と受講者の取りまとめ、当日の司会等を受け持った。



(飯村先生の講演状況)

(1) 演題 「乾燥・規格等製材品の品質確保に向けた課題」

講師 久田卓興氏(農学博士)

現在、全国木材協同組合連合会主任研究員。民間会社に勤めた後、現森林総合研究所に入所。以来、木材乾燥分野での研究や民間等への技術普及に活躍。今日のスギ乾燥スケジュール等の基礎は先生の研究によるところが多い。これまでも何回か山形で講演を頂いている。

講演内容 木材製品に求められている品質性能、特に乾燥技術について、わかりやすく説明いただいた。特に、高温乾燥スケジュールについて技術は確立され、施設性能も向上しており、取り扱いさえしっかりできれば乾燥材の大量生産が可能という見解であった。本県の乾燥施設の増強も進んでおり、平成26年度は2万m³を超える予想がなされている中で、時宜を得た講演となった。

(2) 演題 「木材・木造を取り巻く新たな動き」

講師 飯村豊氏(農学博士)

現在、スギ生産量日本一の宮崎県木材利用技術センター長。民間に勤めた後、平成23年に現職に就任。スギ材利用の技術を支える中心に集成技術を据えて、「かりこぼうず大橋」「木の花ドーム」等の大規模木造建築に携わる等の第一人者である。

講演内容 技術開発に臨む技術系職員の視点や姿勢、木材を取り巻く状況、これらの需要拡大の方向について御教示いただいた。森林資源の充実が進み全国のほとんどの県が産地化している中で、その地域の材料に見合った利用法を確立するために、性能基準を中心とした、様々な材料との組合せによるユニット化等の新しい視点が参考になった。また、先発した宮崎の取り組みを参考にするのが、短期間に木材需要の拡大に繋げられる有効な方法とも述べられた。

講演の後の質疑では、県内での開発が要望されている「木製ガードレール」に関する資料等をいただけることになった。

6 会議、研修等のお知らせ

1 木産協三役会議の開催

下記により三役会議を開催しますので、理事長、副理事長はご出席願います。

記

- (1) 期 日 平成 26 年 2 月 5 日(水)
- (2) 会 場 山形市内 (別途連絡します)
- (3) 内 容 ア 本年度事業の実施状況 イ 次年度事業の検討 ウ 組織運営上の課題等

2 第6回地域森林経営コーディネーター育成研修会(成果報告会・講演会)

森林資源の充実に伴う地域材のコーディネート等について、将来地域の中心となるメンバーの育成研修会。

最終回は、1年間の研修で得られた内容について、11名の研修生による報告会を行う。

また、地域の森林資源をコーディネートするにあたり心すべきことや全国的なコーディネート事例等について、「山村資源を活用した地域活性化」の権威、澁澤寿一氏による講演会も行います。氏の考え方は、これまでの自由経済の行き詰まりをどのように突破すべきかの一方向として「里山資本主義」なる言葉も出てきておりますが、これを地で行くものとして、全国的に高い評価がなされており、受講いただければ、必ず何かしらの収穫は得られるものと思います。研修生の報告や講演会についてはどなたでも聞くことができます。(無料)

奮って申込み下さい。

記

- (1) 期 日 平成 26 年 2 月 18 日(火)13 時 30 分～17 時頃
- (2) 会 場 ホテルキャッスル会議室 (山形市十日町)
- (3) 講 師 澁澤寿一氏(NPO法人樹木・環境ネットワーク協会理事長)
- (4) 内 容 ア 成果報告会(研修生各自報告)(コーディネーター澁澤寿一氏)
イ 講演会 演題「木材を活用する地域振興」
- (5) 申込み 山形県木材産業協同組合にご連絡ください。(Tel 023-666-4800)

3 第 38 回全国育樹祭の日程決定

標記育樹祭は、10月12日(日)に、金山町の「遊学の森」で開催されます。

協賛行事として、新庄市で「林業機械展」も予定されています。また、表彰行事や協賛金なども広く要請する計画と聞いておりますので、様々ご協力下さる様お願いいたします。

4 第 24 回山形県林業まつり

全国育樹祭日程との関係で、林業まつりは、天童市の県運動総合公園で10月25～26日の線で調整が進んでおりますのでご了知願います。組合員の皆様の日程の調整を宜しく願います。

7 12月期住宅着工状況

平成25年12月期の県内新設住宅着工戸数は、対前年同月比124%の502戸となった。利用関係別では持ち家294戸で125%、貸家151戸で109%、分譲住宅53戸の151%と、昨年の累計も大きく上回った。しかし対前月比では、総数、持家及び貸家が落ち込む等、材料不足等と相まって予断を許さない状況となっている。

1 県内新設住宅着工戸数(25年12月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
21年	4,616	2,894	1,251	106	365	4,340	276	3,737	81.0%	2,901	157	679
22年	4,125	2,533	1,140	40	412	3,777	348	3,319	80.5%	2,479	112	728
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
24.7月	560	332	188	25	15	495	65	400	71.4%	303	11	86
8月	451	338	88	0	25	437	14	408	90.5%	333	17	58
9月	458	316	122	1	19	424	34	395	86.2%	285	18	92
10月	423	253	140	0	30	387	36	346	81.8%	279	7	60
11月	453	272	153	1	27	442	11	373	82.3%	261	13	99
12月	406	235	138	1	32	393	13	344	84.7%	216	21	107
25.1月	276	127	89	31	29	238	38	180	65.2%	132	6	42
2月	265	153	92	0	20	246	19	211	79.6%	142	7	62
3月	335	268	32	2	33	328	9	309	92.2%	241	11	57
4月	559	376	151	0	32	494	65	453	81.0%	349	13	91
5月	532	372	128	2	30	513	19	439	82.5%	357	17	65
6月	556	353	171	4	28	540	16	456	82.0%	356	15	85
7月	606	408	146	3	49	593	13	501	82.7%	389	11	101
8月	449	336	60	4	49	439	10	416	92.7%	332	10	74
9月	598	408	152	0	38	568	30	537	89.8%	418	19	100
10月	584	384	158	2	40	577	7	507	86.8%	388	16	103
11月	602	344	223	0	35	596	6	488	81.1%	356	17	115
12月	502	294	151	4	53	490	12	409	81.5%	267	23	119
対前月比	83.4%	85.5%	67.7%	-	151.4%	82.2%	200.0%	83.8%	-	75.0%	135.3%	103.5%
対前年同月比	123.6%	125.1%	109.4%	400.0%	165.6%	124.7%	92.3%	118.9%	-	123.6%	109.5%	111.2%
24.1~当月計	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25.1~当月計	5,864	3,823	1,553	52	436	5,620	244	4,906	83.7%	3,727	165	1,014
対累計前年比	124.3%	123.9%	122.0%	85.2%	147.3%	125.8%	98.4%	125.2%	-	126.8%	105.8%	123.5%

2 地域別新設住宅着工戸数(25年12月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計	市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	502	5,864	123.6%	124.3%	4,906	大蔵村	2	7	-	233.3%	7
山形市	158	1,675	124.4%	108.1%	1,255	鮭川村	0	6	-	100.0%	5
上山市	13	114	162.5%	120.0%	100	戸沢村	0	6	-	200.0%	5
天童市	27	486	84.4%	136.5%	412	最上地域	15	198	187.5%	138.5%	182
山辺町	9	75	180.0%	138.9%	72	米沢市	32	572	246.2%	179.3%	374
中山町	3	51	-	182.1%	49	南陽市	13	158	61.9%	90.8%	154
東南村山	210	2,401	122.1%	115.3%	1,888	高島町	4	95	66.7%	135.7%	94
寒河江市	30	279	66.7%	134.1%	256	川西町	0	30	0.0%	96.8%	29
河北町	6	104	100.0%	170.5%	94	東南置賜	49	855	119.5%	143.9%	651
西川町	0	4	0.0%	66.7%	4	長井市	16	178	266.7%	157.5%	178
朝日町	3	12	300.0%	100.0%	12	小国町	0	12	-	171.4%	10
大江町	9	35	-	129.6%	32	白鷹町	2	53	66.7%	123.3%	51
西村山郡	48	434	88.9%	138.2%	398	飯豊町	1	26	100.0%	162.5%	26
村山市	7	84	175.0%	101.2%	81	西置賜	19	269	190.0%	150.3%	265
東根市	52	406	113.0%	108.8%	366	置賜地域	68	1,124	133.3%	145.4%	916
尾花沢市	1	39	33.3%	69.6%	38	鶴岡市	37	492	148.0%	146.0%	445
大石田町	0	11	0.0%	101.9%	11	三川町	5	54	83.3%	180.0%	46
北村山	60	540	111.1%	115.3%	496	庄内町	5	82	166.7%	128.1%	77
村山地域	318	3,375	113.6%	115.4%	2,782	田川	47	628	138.2%	145.7%	568
新庄市	8	120	133.3%	115.4%	107	酒田市	52	494	179.3%	116.8%	414
金山町	1	12	100%	133.3%	12	遊佐町	2	45	50.0%	236.8%	44
最上町	3	26	300%	288.9%	26	飽海	54	539	163.6%	121.9%	458
舟形町	0	12	-	400.0%	12	庄内地域	101	1,167	150.7%	133.7%	1,026
真室川町	1	9	-	150.0%	8						

注: 累計は平成25年1月~